

第 5 次
吉原地区地域福祉活動計画

令和 7 年度 ～ 令和 11 年度

～ みんなで支え合い笑顔あふれる 吉原地区 ～

令和 7 年 3 月

吉原地区社会福祉協議会

第5次吉原地区地域福祉活動計画

1. 福祉目標

第4次計画までと同様に

みんなで 支え合い笑顔あふれる 吉原地区

と設定し、継続して吉原地区の地域福祉活動に取り組む。

2. 地区地域福祉活動計画の重点項目

- ◆地域で福祉ニーズを発見し、必要な支援に結びつける活動の推進
 - ・見守り活動推進ネットワーク体制の推進(吉原みまもり隊)
- ◆住民自ら地域の福祉課題を学習する活動の推進
 - ・地区社協広報誌の発行
 - ・座談会や地区支え合い会議を開催し、地域のつながりづくりや支え合い
 - ・各種団体との協働化促進、若い人、次世代の層(60代)の参加促進
- ◆地域支え合い活動の推進
 - ・給食サービス(安否確認と交流)
 - ・子どもを中心に、多世代が行き交える居場所づくり(キッズここ家inよしはら)
 - ・食生活改善による健康保持
 - ・外出支援事業
 - ①生活支援型:買物支援バス添乗ボランティア
 - ②生きがい・社会参加促進型:サロン外出支援バス
 - ・歳末ふれあい訪問(高齢者・要支援者への訪問、児童との交流)
- ◆住民の参加による地域福祉を高めるための活動の推進
 - ・ボランティア活動への参加促進(福祉委員、添乗ボランティア、サロンなど)
 - ・寿大学、いきいきときめき大学の推進
 - ・ふれあい・いきいきサロンの推進(継続・新規サロンの支援、合同研修会)
- ◆相談支援活動の推進
 - ・身近なところで相談や助け合いができる体制づくりの検討
- ◆子育て支援、児童福祉活動の推進
- ◆安心安全な地域づくり活動
 - ・地区自主防災組織活動への協力(世代間のつながり、小地域での実施)
- ◆新規事業
 - ・あいさつ運動(登校時正門でのあいさつ)
 - ・生活支援事業の検討
 - (買い物代行、医療機関への送迎、簡単な家事援助、ゴミ出しなど)
- ◆住民主体の組織体制の確立
- ◆地区社協福祉活動財源の確保
 - ・自治会未加入世帯の社協会員加入促進、共同募金運動などへの協力

3. 地区地域福祉活動計画年次計画書

吉原地区の福祉課題及び福祉目標・重点目標に基づき吉原地区の今後の5か年の推進計画を別紙のとおり策定した。

4. 地区地域福祉活動計画の推進点検について

この計画の進捗状況については、役員会で毎年度点検するとともに、見直しする。

第5次吉原地区地域福祉活動年次計画

福祉目標	みんなで支え合い笑顔あふれる 吉原地区
------	----------------------------

分類	基本目標	推進方策（具体的活動）						位置づけ
		実施計画	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	
活動	1. 相談支援活動の推進	・公民館のコミュニティ化の検討 ・身近なところで相談支援できる体制づくりの検討						→ 継続・市へ要望 → 継続
	2. 住みよい地域づくり活動・ の推進	・地区社協広報誌『吉原地区だより』の発行（年2回） ・福祉教育の推進 ・住民座談会（年1.2回 多世代が一緒に話し合える機会） ・各種団体との協働化促進 ・若い人、次世代の層(60代)の参加促進 ・地区支え合い会議の開催						→ 継続 → 継続 → 継続・強化 → 継続 → 継続 → 継続・強化
	3. ニーズ発見、 見守り支援の推進活動	・見守り活動推進ネットワーク体制づくりの強化（吉原みまもり隊） ・健康増進活動拠点（介護予防拠点など） ・高齢者への友愛訪問の推進						→ 継続・強化 → 継続 → 継続・強化
	4. 住民の参加促進	・ボランティア活動への参加促進 （福祉委員等の推進及び、買い物支援バスの添乗ボランティア、 サロン運営ボランティアなど） ・寿大学、イキイキときめき大学の推進 ・ふれあい・いきいきサロンの推進 （各サロンの支援、サロン代表者会の開催）						→ 継続 → 継続 → 継続
	5. 地域支え合い活動の推進	・給食サービス（安否確認と交流） ・食生活改善による健康保持 ・外出支援事業の実施 ①生活支援型：買物支援バス添乗ボランティア ②生きがい・社会参加促進型：サロン外出支援バス ・子どもを中心に全世代が行き交える居場所づくり（キッズここ家inよしはら） ・スポーツ行事、文化行事への参加 ・長寿を祝う会の実施 ・歳末ふれあい訪問（高齢者・要支援者を対象：児童との交流）の実施 ・公民館まつりへの協力 ・善通寺まつりへの参加						→ 継続 → 継続 → 継続 → 継続・強化 → 継続 → 継続 → 継続 → 継続 → 継続

分類	基本目標	推 進 方 策（具 体 的 活 動）					位置づけ
		実 施 計 画	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
活 動	6. 子育て支援、児童福祉活動の推進	・乳幼児支援活動の実施（吉原地域子育て支援センターとの連携）					→継続
		・児童の居場所づくり事業					→継続・強化
		・児童見守り活動（登下校時の見守りボランティアの推進）					→継続
		・児童安全マップの作成 （小学校で通学路を点検し、マップにして配布）	検討		実施		→見直し
		・福祉教育の推進 （児童が、ひとり暮らしのお年寄りへ、手紙で交流）					→継続
	7. 安心安全な地域づくり活動	・地区自主防災組織活動への協力、支援 （世代間のつながり、小地域で実施）					→継続
		・地区防犯活動への協力					→継続
		・地域の安全点検、環境整備					→継続
	新規事業	・あいさつ運動（登校時正門でのあいさつ）	実施				→新規
		・生活支援事業の検討 （買い物代行、医療機関への送迎、簡単な家事援助、ゴミ出しなど）	検討		実施		→見直し
組 織	住民主体の組織体制の確立	・地区福祉委員・運営委員の設置					→継続
		・担当地区民生委員児童委員との連携					→継続
財 政	地区社協福祉活動財源の確保	・自治会未加入世帯の社協会員加入促進、					→継続・強化
		・赤い羽根共同募金活動、歳末たすけあい募金活動への協力					→継続・強化
		・受益者負担の協力依頼（給食サービスなどの利用者負担）					→継続

吉原地区の自慢「コラム」

お買物支援バス

●吉原地区の買い物バスは、北地区1・2(火曜日・隔週型)と南地区(木曜日・隔週型)で毎週運行しています。添乗ボランティア(役員・福祉委員)は合計33名おり、毎回2名が添乗。公民館を10時に出発して、地区ごとに乗り場を回ります。

車中では、近況報告などいろいろな話に花が咲き、店内では頭脳をフル回転して、見て、手に触れて品定めをします。そして、レジではタッチパネルの操作に挑戦です。

吉原地区にはスーパーが無いので、友達に会えて、楽しく買い物ができるこの支援活動は、利用者の皆様には大変感謝されています。



キッズここ家inよしはら

●令和4年度より、地域福祉の拠点づくりとして、「子どもを中心に多世代が行き交える居場所づくり」を福祉活動計画の重点項目に決めました。

この事業計画に基づき、令和6年3月2日(土)、10月5日(土)そして、令和7年2月22日(土)に、「キッズここ家inよしはら」を開催いたしました。

『遊び』を通して、ゲーム・昔遊び・祖父母交流・カフェ・ミニ防災・だがしやさんコーナー等、高齢者との触れあいの場を設け、また、提供された地域特産のフルーツを堪能し、子ども達・保護者と共に毎回楽しく笑顔で過ごすことが出来ました。児童・保護者の皆様のご参加をスタッフ一同心よりお待ちしております。



ふれあい・いきいきサロン

●吉原地区には、現在21グループのサロンがあります。殆どのサロンは、毎月一回メンバーが集まって、おしゃべりをしながら、茶話会や食事会を楽しんでいます。男性ばかりのサロンでは、史跡や時々ニュースの勉強をしたり、外出支援の時は、史跡や神社仏閣巡りをしたりと、向上心あふれているサロンもあります。なかなか年を取ると、自分達だけで出かけることも少ないので、皆さん外出支援バスの利用を楽しみにしているようです。

今後のサロン活動の課題は、全員が年老いて世代交代を考えなければいけないサロンも少なからずあるようです。一方では、若い世代が新しいサロンを作っている話も耳にします。

これからも吉原地区のサロンが、益々発展し、継続していくことを望んでやみません。



見守り活動推進員活動(吉原みまもり隊)

●平成28年6月、見守り活動ネットワーク事業として、吉原みまもり隊が結成されました。現在、民生委員(7名)と見守り推進員(9名)が連携して活動しています。

主に高齢者や要援護者を対象に、日頃のさりげない見守り訪問活動を行っています。日常生活の中でいつもと違う、何かおかしいと感じる人がいたら、みまもり隊に相談してください。

